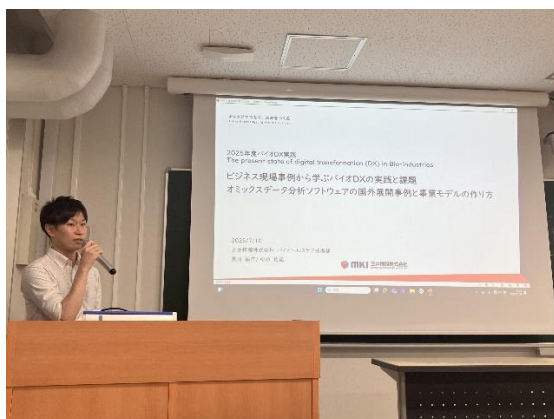


2025 年 7 月 31 日

三井情報株式会社

東京科学大学 生命理工学院における社会連携教育プログラム 「2025 年度 バイオ DX 実践」にて弊社社員が講演しました

7 月 10 日(木)、弊社の社員 2 名が、国立大学法人東京科学大学(所在地:東京都目黒区、学長:田中 雄二郎)生命理工学院における社会連携教育プログラム「2025 年度 バイオ DX 実践」で講義を担当しました。



■当日の講義の様子(左からバイオヘルスケア技術部 黒川、松原)

本講義は産業・ビジネスの実課題に対応できるバイオ DX 人材育成を目的とするもので、産業界より 5 社が講師を担当して課題解決などの実践的教育を実施するものです。弊社の社員 2 名は「ビジネス現場事例から学ぶバイオ DX の実践と課題」(黒川)、「質量分析データ解析ソフトウェアの国外展開事例と事業モデル」(松原)をテーマとした講義を担当しました。

「ビジネス現場事例から学ぶバイオ DX の実践と課題」では、バイオヘルスケア技術部 黒川が、企業での研究支援や AI 技術を活用した社内研究開発の事例を紹介し、研究成果が事業化に至るまでのプロセスと課題を踏まえて、データサイエンスのビジネスへの応用について解説しました。「質量分析データ解析ソフトウェアの国外展開事例と事業モデル」では、同部 松原が、弊社製ソフトウェア LipidSearch を事例とした国内からグローバル市場へのプロダクト事業戦略、及び他プロダクトへの横展開に関して解説しました。また、実践課題として事業戦略策定フレームワークの 1 つである「クロス SWOT 分析」を取り上げ、学生によるグループワークを実施しました。

以上

【三井情報株式会社について】

三井情報株式会社(MKI)は『ナレッジでつなぐ、未来をつくる』をパーパスに掲げ、ICT を基軸とした事業を展開し、2030 Vision「未来社会の当たり前をつくる」の実現に向け、お客様と共に社会課題の解決や新たな価値の創出に取り組んでいます。第七次中期経営計画では、2023 年 4 月からの 3 年間を「想創期」と位置づけ、半世紀にわたり培った技術や知見の結実である“KNOWLEDGE”を活かし、お客様と共に価値を創造する「価値創造企業」として絶え間ない挑戦を続けていきます。

ホームページ: <https://www.mki.co.jp/>

※三井情報、MKI 及びロゴは三井情報株式会社の商標または登録商標です。

※本リリースに記載されているその他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

三井情報株式会社

広報・ブランディング推進室

TEL : 03-6376-1008 E-mail : press-dg@mki.co.jp